

梅原一浩・佐々木智美●

卒後21年目の私（梅原）が本書を読み、DVDを見て真っ先に感じたことは、インプラント治療を「Feed back」できるという新しい発見があったことである。従来のインプラント治療解説書では、写真や模式図などを介して診断からメンテナンスまでを詳細に解説するにとどまるが、本書が異なるのは、「診断→手術→補綴」という治療の流れに沿って、初心者やベテランが確認したことについて詳説するのはもとより、DVDではサージカム（術者の視点で見られるカメラシステム）を利用して、それらがすべて術者と同じ視点で見られることにある。狭窄した視野のなかでどのように器具を使っているかなどの実例も、術者の感覚で擬似的に見ることができる。そしてDVDを見ることで、なんとなく読んでいた重要なポイントに気づき、再度解説を見直すことで明確に理解できる、すなわち、「Feed back」システムという新しい構想が組み込まれている解説書である。

第1巻では、臨床上最もインプラントの治療頻度が高い下顎遊離端欠損の基本術式について記述されている。術前のリスク検査から、診断用テンプレートの考え方と作製法、そしてサージカルステントを用いて手術に臨むまでのシミュレーションをここまで徹底して映像と誌面で詳述した、といっちは言いすぎだろうか……。また、補綴物作製に至る過程も詳細に記載されている。ラボサイドから送られてくる補綴物を術者サイドでどのように取り扱っているか、「印象→アバットメントの作製→メタルフレームの作製→鑲着→試適→装着」という細かな視点も、DVDを併用して見ることで理解が深まる。

また、インプラント初心者である卒後3年目の筆者（佐々木）からも述べたい。

大学教育でもインプラントに対する十分な教育を受けていない筆者のような初心者は、『インプラント＝欠損補綴』という概念しかない。いままでさまざまな先生方のインプラントについての講義を受けてきたが、どの講義も一様に難しい用語が羅列さ



DVD 術者の視野で見るインプラント治療1 Step by Step 下顎遊離端欠損
武田孝之編著・井上敬介著・矢島安朝協力
A4判変型 96頁 定価12,600円（本体12,000円＋税5%）
医歯薬出版株式会社刊

れ、アドバンスな症例が示される。これらが、筆者のような初心者をよりインプラント介入への一歩を躊躇させる一因になっているだろう。

インプラントに関してはさまざまな書籍があるが、いずれも基本的にインプラント埋入の術式が主としてフォーカスされるばかりである。一概に欠損といっても、条件は一様ではない。それぞれの欠損をいかに診断・評価しなければならぬか、個々にあったインプラント体の選択、埋入はどのようなものかなど、本書にはそうした初心者が一番知りたい事柄が網羅されている。また、明確で揺るぎない診断の基準が明示されているのは珍しく、大きな魅力の一つだろう。加えて、一つの症例において診断から補綴完了時までトータルに追究することで、初心者でも容易に治療の全体像を把握することが可能であるため、初心者がインプラント介入に一歩を踏み出す際のバイブルになるに違いない。

このように初心者からベテランまで、本書が新たな視点で捉えたインプラント治療の教育解説書として役立つことは間違いない。

（うめはらかずひろ・ささきともみ）
〒036-8182 青森県弘前市土手町123 梅原歯科医院
Tel：0172-32-7330